

Online

2023年3月1日(水) 13:30~

# 「森林環境教育・森林ESD」「緑の少年団」推進 全国セミナー2023



林務部署と教育委員会が連携した「森林環境教育・森林ESD」「緑の少年団」の推進体制のあり方を学ぶ



- 学校教育においては、地域資源を活用した教科横断的で子どもの主体的な学びを重視した「学習指導要領」の導入、学校における「働き方改革」に伴う休日の部活動の段階的な地域移行、「子ども基本法」制定による子どもの主体的な発育・社会参画への要請の高まり等により、「緑の少年団」や「森林環境教育・森林ESD」は転換期を迎えています。
- 他方で、“森林”は体験学習・調べ学習・問題解決学習など、児童生徒の発達段階に応じて多様な「探求学習」を行いやすく、また社会科・理科・道徳などの多様な教科で「教科横断的な学習」も行いやすい特徴を活かして、移動教室等で訪れる「青少年教育施設」と連携して、幅広い学校に「森林ESD」を導入する自治体も拡がりつつあります。
- こうした中で、(公社)国土緑化推進機構・(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構では、2022年度に「「緑の少年団」「森林環境教育・森林ESD」のあり方検討委員会」を設置して、これからの支援体制・支援策のあり方を検討してきたことから、その論点整理を紹介しつ、先進自治体の取組に学ぶ全国セミナーを開催します。

【主催】(公社)国土緑化推進機構・(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構

【後援】(独)国立青少年教育振興機構、全国緑の少年団連盟

【日時】2023年3月1日(水) 13:30~16:30

【場所】オンライン会議システム「ZOOM」

【定員】100名(定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください)

【内容】次ページのプログラムをご参照下さい。

【参加費】無料

【申込】WEBサイトの「申込フォーム」からお申し込みください。

《フォーム》<https://forms.gle/FxfGtz94rdAxpL7>

※フォームにアクセスできない場合は、①氏名、②組織名・部署・役職名、③住所、④TEL、⑤E-mail  
⑥参加プログラム、⑦備考を、お問合せ先までE-mailにてお送りください。

【締切】2023年2月22日(水)

【問合先】(公社)国土緑化推進機構 政策業務部(担当:大松・林)

TEL:03-3262-8437 FAX:03-3264-3974

E-mail:[comis@green.or.jp](mailto:comis@green.or.jp)

(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構(担当:木俣)

E-mail:[explayground.forest@gmail.com](mailto:explayground.forest@gmail.com)

# 「森林環境教育・森林ESD」「緑の少年団」推進全国セミナー2023 プログラム

|             |   |
|-------------|---|
| 1. 開会挨拶     | 沖 修司 ((公社)国土緑化推進機構 専務理事)<br>林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室  |
| 2. 概要報告     | <p><b>【1】デジタル社会における森林等における「リアル体験」の意義と推進の方向</b><br/>                 秋山 洋 ((独)国立青少年教育振興機構 教育事業部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 文部科学省は、デジタル社会において、「リアル」×「デジタル」の最適な組合せによる価値創造的な学びを推進することとしており、地域・企業と連携して、全ての子供に学内外で体験活動を定着させることとしています。</li> <li>▶ そこで、デジタル社会における体験活動の価値・効果と、学校教育における教科等と連携した体験活動の推進の方向性をご紹介します。</li> </ul> <p><b>【2】地域における「森林環境教育・森林ESD」「緑の少年団」支援策の実態と課題</b><br/>                 ～都道府県・都道府県緑の少年団連盟への実態調査から<br/>                 八巻 一成 ((国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 環境計画研究室長)</p> <p><b>【3】新たな時代に対応した「森林ESD」と「緑の少年団」の支援体制・支援策のあり方</b><br/>                 ～「緑の少年団」「森林環境教育・森林ESD」のあり方検討委員会」論点整理より～<br/>                 山下 宏文 (京都教育大学 教授)、木俣 知大 ((一社)東京学芸大Explayground推進機構)</p>  |
| 3. 事例報告     | <p><b>【1】滋賀県「公立青少年教育施設・森林総合利用施設等を活用した森林環境学習「やまのこ」と「緑の少年団」の支援体制づくり</b><br/>                 廣瀬 正明 (滋賀県 琵琶湖環境部 技監)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 滋賀県が林務部署と教育委員会が連携し、公立青少年教育施設・森林総合利用施設を拠点に、全小学校4年生を対象に実施している森林環境学習「やまのこ」(「琵琶湖森林づくり県民税」活用)や、またその施設や企業等と連携した「緑の少年団」活動の支援体制づくりをご紹介します。</li> </ul> <p><b>【2】大分県「県立青少年の家が主体となった「森の子学校体験活動推進事業」</b><br/>                 中野 吾一 (大分県香々地青少年の家 主任社会教育主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大分県では、幼児期から大学生まで多様な「森林・林業教育」を推進しており、令和4年度から教育庁と連携して「森の子学校体験活動推進事業」(「大分県森林環境税」活用)を創設し、県立青少年の家での「集団宿泊的行事」での体験活動とその事前事後学習について、をご紹介します。</li> </ul> <p><b>【3】東京都小金井市「移動教室における「森林ESD」モデル事業の実践 及び放課後型「緑の少年団(地域団)」活動の展開</b><br/>                 宮村 連理 (東京学芸大学附属小金井中学校、東京学芸大学環境教育研究センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 小金井市教育委員会が、東京学芸大学等と連携して、森林環境譲与税の活用を見据えて小金井市「清里山荘」(山梨県北杜市)周辺の県有林で行っている「森林ESD」をご紹介します。</li> <li>▶ また、「放課後」に中学生が自ら企画し、地域と森づくりや木づかいを取り組む「GREEN TECH Engineer LAB」(「緑の少年団」にも登録)の活動についてもをご紹介します。</li> </ul> |
| 4. ディスカッション | 「林務部署と教育委員会が連携した「森林ESD」「緑の少年団」の推進体制づくり」<br>《進行》山下 宏文      《登壇》上記登壇者、河野 智久 (大分県 農林水産部 林政審議監)   |
| 5. 閉会挨拶     | 沖 修司 ((公社)国土緑化推進機構 専務理事)  |

【同時開催】『森林ESD教材・ボードゲーム「きこりものがたり」説明会』 [\(詳細ページ\)](#)



《主催》(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構

《日時》2023年3月1日(水) 16:45～17:15 ※「全国セミナー」の終了後

《内容》「森林ESD」モデル事業の一環で開発した、間伐の必要性和日本の木材価格の変遷等を学べるボードゲームを、試行的に全国の学校や緑の少年団・森林NPO等にお貸しすることとしており、その説明会を行います。

